

I 第1回専門部会の振り返り

日時：平成27年10月15日 15:30~17:00

場所：松山センタービル 4階第1会議室

1. 中心市街地の現状と課題

○事務局説明内容

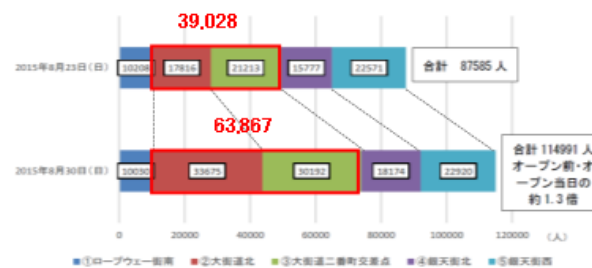
- (1) 松山市の中心市街地への考え方・方針
- (2) 中央商店街の現状と課題
- (3) 利用者のニーズ
- (4) 回遊性・滞留性の向上に向けた松山市の取組
- (5) 今回の専門部会の目的

○主な意見

◇アエルオープン後の状況

- ・平日の歩行者通行量については、アエルオープン直後に比べるとほぼ通常の状態に戻ったが、アエルがオープンしたことで一番町の端っこだまで大街道の賑わいがつながるようになった。
- ・アエルの前が待合せの場所として復活するなど、晴れの日の夜は非常に効果がある。いろいろな声を聴くと、前のイメージが強く、アエルの物販の物足りなさが指摘されている。

【アエルオープン前後の歩行者通行量の変化（5地点）】



2. 街なか空間（公共・民間）の活用

○事務局説明内容

- (1) 公民の連携による街なか空間活用の潮流
- (2) 街なか空間活用の事例
- (3) 松山市における街なか空間活用の事例
- (4) 街なか空間を活用する際の課題

○主な意見

◇8月に実施された実証実験について

- ・大規模に60席で行ったのがよかった。以前から座れる場所の要望があったが、今回は商店街以外の民間が入ったので、分かりやすい実験が出来た。今後も商店街でやってみたい。
- ・毎日の出し入れをどのように継続できるかが重要。座る場所があることがお店にとっても価値があると分かれば繋がっていく。どのようなことをしていけばよいか一緒に考えていきたい。
- ・実際に実験箇所を通った時に思ったのは、デザインの重要性がこんなにも大事だということ。可動椅子や収納することができる工夫、また緑の配置が絶妙だった。視線が合わなくて居心地がよいパーソナルスペースになるような配置だった。

【8月の実証実験の様子】



◇街なか空間を活用する際の課題

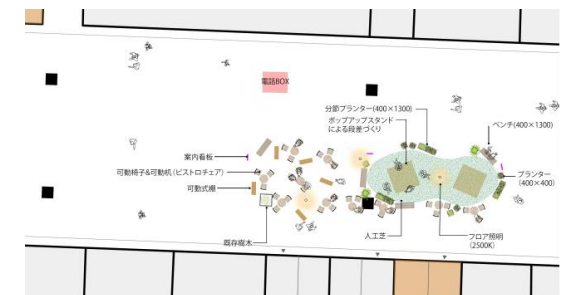
- ・実証実験をやるのはいいが、その後どうするのが重要。役所の方針として継続性が疑問。
- ・だれが管理をしていくのか、そこが気になっている。
- ・可能な形で出来ることから持続していくということが重要。

3. 公民一体型空間形成と実証実験の概要

○事務局説明内容

- (1) 公民一体型空間形成の方向性
- (2) 実証実験の実施について
- (3) 大街道商店街の特長と使われ方
- (4) 実証実験の概要
- (5) 今後の流れ

【実験計画（案）】



○主な意見

◇実証実験の実施について

- ・是非大街道だけではなく銀天街でも展開されたい。しかし、過去の経験からも商店街からの一方通行の発意だと言われたくないので、行政と一緒にやっていきたい。
- ・管理の話はとても重要。実験の際に、設置時間やかかる費用などのデータを取ってほしい。
- ・成功すれば商店街に必要な、となる。2回、3回と続けられるような持続可能な実証実験であればと思う。
- ・子供の話が出たので、次回とても興味がある。その後をどうするのかという話においては、実験に使用予定の椅子やテーブルでよいのかという議論はすべきだと思う。
- ・銀天街の経験からも植物をアーケードの下でやるのは難しい。やるならしっかりとやった方がいい。お茶を濁す程度はやめた方がよい。

◇空き店舗活用と公共空間活用の連携について

- ・リノベーションと一緒にやったらいいと思う。その場合、地価が高いところではなく地価が低いところでやるべきでは。

◇まとめ

- ・実証実験そのものは好意的な意見だったので進めて頂く。今後の運営上の課題も含めてコストや負担をしっかりとまとめて頂く。
- ・空き店舗について重点的に取り扱うのであれば、その主旨やどういう問題を解決するためにやるのかから整理した上で検討した方がよい。